

あした
選挙
行く？

第2号

20歳になっても選挙に行こう

世の中では、「低い」と言われている若者の投票率。

実は、18歳の投票率については、それほど低くないのを知っていますか？

例えば、平成31年に行われた杉並区議会議員選挙での18歳投票率は、42.95%。
これは、70代・60代・50代の投票率に次いで高い数字なんです。

でも、19歳になると投票率は急低下し、
年代別で見たとき、20代の投票率は常にワースト1。

このままだと、ただでさえ他の年代に比べて圧倒的に人数が少ない若者の声は、
全然社会に反映されません。

もしも、ブラックな校則がなくなったら。
もしも、奨学金を返さなくてもよかったら。
もしも、やりたい仕事の賃金が高かったら。
もしも、毎日もっと早く帰れたら。

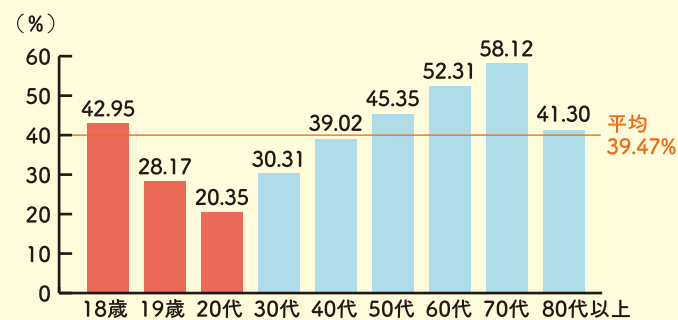
今あなたの中に、そんな「もしも」があるのなら、
19歳になっても、20歳になっても選挙に行こう。

選挙は、あなたの思いを届ける手段です。

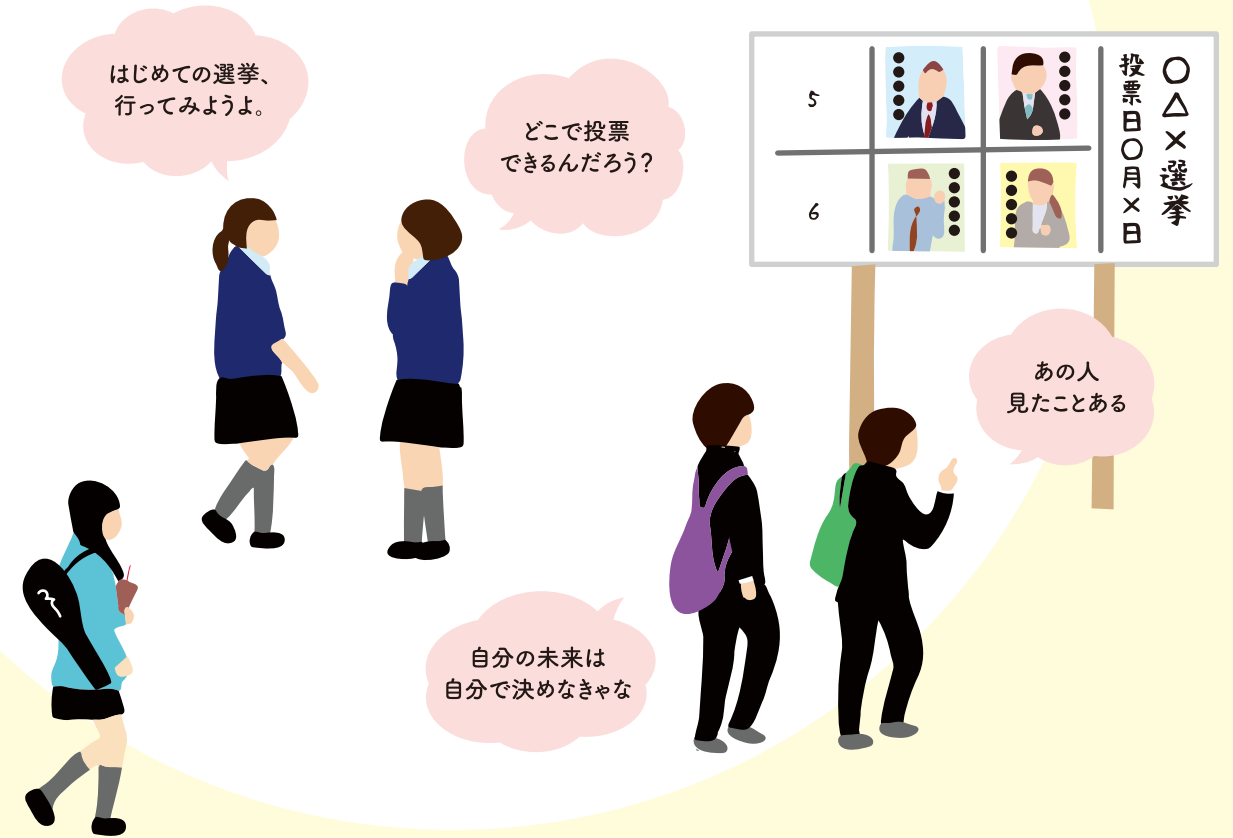
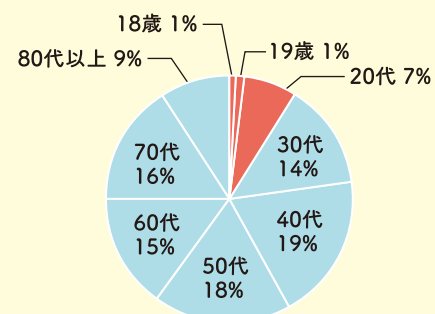
次の選挙で届けよう、若者の思い。

平成31年杉並区議会議員選挙のデータ

◆年代別投票率



◆すべての投票者数に占める年代別投票者数の割合



誰かが決めてくれるでしょ

投票する意味ってあるの？



仕事が忙しくて選挙どころじゃないよ



なんで毎日こんなに忙しいんだろう



INTERVIEW!



杉並区選挙管理委員会では、投票率の向上を目指し、地域の関係各所との連携・協働を進めています。中でも杉並区大宮に拠点を置く高千穂大学には、キャンパスを投票所として開放していただいたり、選挙啓発活動と一緒に行っていただいたりと、様々な取り組みにご協力いただいています。今回は、そんな取り組みに関わっていただいた方のお話をご紹介します。

◀選挙のめいすいくん
公益財団法人明るい選挙推進協会の公式イメージキャラクター



自治体と大学との協働について

高千穂大学 学務部教務課インフォメーション担当
箱田美智雄さん

— 貴学には、2019年4月の区議選、7月の参院選、2020年7月の都知事選で、キャンパスを投票所として開放していただきました。投票所のオファーを受けてくださった理由は何ですか？

箱田：2016年に18歳選挙権が適用されたこともあり、本学に通う大学生にも選挙を肌で感じ、大人としての自覚を持ってもらえたら、という願いがありました。また、杉並区民の方に本学を知っていただく機会になると思ったことも理由の1つです。投票日は休日のため、普段の学生生活を見ていただくことは叶いませんが、部活動の様子などを見ていただくだけでも、投票所としてキャンパスを開放する意味があると思いました。

— キャンパスを投票所として開放する以外には、どのような選挙啓発活動をしていただきましたか？

箱田：杉並区から選挙啓発グッズ（ティッシュ等）をいただいていたので、大学の事務局にきた学生に配布していました。教員も授業などの際に配布用に持って行ったりしていましたね。

— 2021年7月の都議選の際には、京王井の頭線永福町駅で選挙啓発グッズの配布にご協力いただきました。これは初めての試みでしたが、協力してどのように感じましたか？

箱田：そうですね。例年、選挙啓発グッズは学内で学生に配布していますが、今年はコロナの影響で大学もオンラインが中心でしたので、駅で一般の利用者の方相手にも配布することになりました。学生にとっては普段の学内

とは違った人との触れ合いがあって良かったかと思えます。例年とは異なる駅での啓発活動を経験することで、選挙への意識も高まったのではないのでしょうか。

— 今後も杉並区との協働関係を続けたいと思いますか？

箱田：そうですね。また、学生の参加をもっと増やしたいですね。「困ったら、高千穂に聞いてみよう」と思っていたるように、気を引き締めていきたいと思っています。

※それまで投票所となっていた永福体育館の改修工事のため、2020年7月の都知事選まで高千穂大学を投票所として利用。2021年7月の都議選以降は、永福体育館跡地の「コミュニティふらっと永福」に投票所を移転した。

杉並区選挙管理委員会の取り組み

高千穂大学との連携・協働事業



選挙啓発活動をやってみて

高千穂大学 学生 菅谷良太さん



— 菅谷さんには、京王井の頭線永福町駅での選挙啓発グッズ配布にご協力いただきました。啓発グッズの配布を経験してみて、いかがでしたか？

菅谷：駅で啓発グッズを配布してみて、年配の方からのほうが反応があることが分かりました。若者世代は選挙にピンときていない感じがしました。

— 今回、どのようないきさつでこの活動に参加することになったのでしょうか？

菅谷：ゼミの先生に声をかけられたことがきっかけです。活動に参加することに特に抵抗はありませんでしたが、「何をやるのかな？」という心配は少しありました。

— 選挙啓発活動に参加することを聞いた友達の反応はいかがでしたか？

菅谷：驚かれました。若い世代は選挙を自分ごととして考えることが少なく、「自分が動いたところでどうなんだろう」という意識があります。でも、「こんな活動をやってみただよね」と友達に話したら、何人が選挙に行ってくれたみたいでした。その意味では、活動の効果がありましたね。

— 活動に参加してみて、率直にどう感じましたか？

菅谷：やってよかったと思います。

— 選挙啓発活動に参加された後で、ご自身は選挙に行かれましたか？

菅谷：行きました。でも、まだ選挙に行くのが2・3回目だったので、どうしたらよいかあまり分かっていなくて。緊張しましたが、よく分からないなりに投票してきました。

— 選挙に行く前に、誰に投票するかを調べましたか？

菅谷：「選挙に行かなきゃいけない」ということが先にあって、候補者について特に調べたりはしませんでした。街中で見かけた選挙カーでの演説を聞いた印象などで選びました。

— 今後はもっと事前に調べてみようと思いましたか？

菅谷：今回、選挙にはいろんな人が関わって成り立っていると実感できたので、もう少し考えて投票しようと思いました。

— そもそも選挙に対するイメージはどのようなものでしたか？

菅谷：周りの人たちと選挙の話をするのもないですし、「大人がするもの」という印象がありました。

— 若い人たちの投票率を上げるためにはどうすればいいと思いますか？

菅谷：今は、「選挙に行ったところで何も得られない」と感じられるので、投票するメリットがもっと増えればいいのかと思います。あとはオンラインでの投票ができるようになれば、投票率が上がるのではないかと感じました。また、そもそも選挙があるということを知る機会が少ないので、SNSを利用した広報活動を行うのもいいと思います。今の大学生はInstagram、高校生ぐらいだとTikTokを使っていることが多いので、そこでの広告などが目に入れば、選挙のことを知ってもらう可能性は高くなるのではないのでしょうか。

— 「自分の意見が政治に反映されること」が投票するメリットと感じられるようになるといいんですけどね。最後に、若い人たちが選挙を自分ごとと感じられるようになるには、どうすればいいと思いますか？

菅谷：教育の場で取り入れることでしょうか。高校の授業で取り上げる等すればいいと思います。



永福町駅での啓発活動の様子



明るい選挙啓発 ポスターコンクール

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、将来の有権者である子どもたちに選挙への関心を高めてもらうことを目的に、公益財団法人明るい選挙推進協会によって毎年開催されているコンクールです。杉並区選挙管理委員会でも区内の小中学校や高等学校に向けて応募を呼びかけており、令和3年度は16校から465作品の応募がありました。

今号では、令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクールで協議会会長賞・委員長賞・区長賞・教育長賞を受賞した8作品をご紹介します。

協議会会長賞

委員長賞

● 中学生の部

● 小学生の部



向陽中学校2年 武井 愛佳さん



松庵小学校6年 浅井 珠莉さん

● 中学生の部

● 小学生の部



向陽中学校2年 一條 理奈さん



高井戸東小学校6年 植田 莉代さん

区長賞

教育長賞

● 中学生の部

● 小学生の部



向陽中学校2年 福谷 乃海さん



松庵小学校6年 石井 恵璃さん

● 中学生の部

● 小学生の部



向陽中学校2年 亞厂 深玖さん



松庵小学校6年 岸本 侑里香さん

投票に立ち会ってみませんか あなたの参加をお待ちしています



杉並区選挙管理委員会では、若い世代の方に政治や選挙に対する関心を高めていただくとともに、もっと選挙を身近なものに感じてもらうため、投票に立ち会っていただける方(若年投票立会人)を募集しています。

投票立会人とは

他人になりすまして投票しようとする人や特定の候補者への投票を呼びかける人がいないかに気を配り、投票に不正がないかを投票所において監視等する方です。

主な仕事

- 1 投票事務(投票する人が、入場してから投票用紙を投票箱に投入し、退場するまでの一連の行為)の立会い
- 2 投票所の開閉の立会い
- 3 投票箱に何も入っていないことの確認
- 4 投票時間終了後、投票箱の施錠確認
- 5 投票録への署名
- 6 開票所へ投票箱を送致する際の同行(1名)



応募資格

選挙権があり以下の年齢要件を満たす方

- ・投票日の翌日までに18歳の誕生日を迎える方
- ・18歳から29歳までの方

※特定の候補者の選挙運動に積極的に携わっている方や候補者の親族の方は応募をご遠慮ください。

報酬・その他

- 報酬
1日につき 14,000円(令和4年3月 現在)
所得税法に基づき、所得税を源泉徴収します。
また、交通費の支給はありません。
- その他
昼食・夕食は各投票所で用意します。

立会い日時・場所

1. 日時：投票日当日の午前7時から午後8時まで。
(集合時間は午前6時45分)
適宜休憩あり。
2. 立会場所：ご自身が投票する投票所

応募方法

以下のアドレスにメールをお送りください。

senkan@city.suginami.lg.jp

- タイトル「若年立会人希望」
- メール本文に以下の内容をお書きください。

- ・氏名(ふりがな)
- ・生年月日
- ・住所
- ・連絡先
- ・立会人を希望する理由





あした選挙行く？ 第2号

令和4年3月

企画・発行：杉並区選挙管理委員会

協力：杉並区明るい選挙推進協議会・杉並区明るい選挙推進委員・杉並区選挙サポーター・高千穂大学

制作：NPO 法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー

◎問合せ先

杉並区選挙管理委員会事務局

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南1丁目15番1号 TEL：03-3312-2111